

めぐみイエス・キリスト教会

2023年11月5日(日)第一主日礼拝

午前10時より

週報「通算第681号」



2023年標題聖句

第Iヨハネの手紙第5章4節～5節

《神から生まれた者はみな、世に勝つからです。私たちの信仰、これこそ、世に打ち勝った勝利です。世に勝つ者とはだれでしょう。イエスを神の御子と信じる者ではありませんか。》

第一礼拝(教会にて) 毎週日曜日 午前10時～11時

第二礼拝※中止

聖書の学びと祈り会 毎週水曜日 午後6時～(各家庭にて)

牧師 鈴木 竜 実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】

【賛美Ⅰ】 新聖歌196「祈れ物事」 p. 290

【交読文】 No.36 詩篇第116篇 p. 908

【賛美Ⅱ】 新聖歌259「聖いふみは教える」 p. 404

【使徒信条】 【主の祈り】 【先週説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナル曲No.1「み言葉に帰ろう」

【聖書朗読】 ルカの福音書2章40節～52節(新約p. 112上段)

【礼拝説教】 《少年イエス》

【聖餐式】

【賛美Ⅳ】 新聖歌165「栄光イエスにあれ」 p. 235

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝祷後奏】

※本日の聖書箇所(ルカの福音書2章40節～52節)

2:41 さて、イエスの両親は、過越の祭りに毎年エルサレムに行っていた。

2:42 イエスが十二歳になられたときも、両親は祭りの慣習にしたがって都へ上った。

2:43 そして祭りの期間を過ごしてから帰路についたが、少年イエスはエルサレムにとどまっておられた。両親はそれに気づかずに、

2:44 イエスが一行の中にいるものと思って、一日の道のりを進んだ。後になって親族や知人の中を捜し回ったが、

2:45 見つからなかったなので、イエスを捜しながらエルサレムまで引き返した。

2:46 そして三日後になって、イエスが宮で教師たちの真ん中に座って、話を聞いたり質問したりしておられるのを見つけた。

2:47 聞いていた人たちはみな、イエスの知恵と答えに驚いていた。

2:48 両親は彼を見て驚き、母は言った。「どうしてこんなことをしたのですか。見なさい。お父さんも私も、心配してあなたを捜していたのです。」

2:49 すると、イエスは両親に言われた。「どうしてわたしを捜されたのですか。わたしが自分の父の家にいるのは当然であることを、ご存じなかったのですか。」

2:50 しかし両親には、イエスの語られたことばが理解できなかった。

2:51 それからイエスは一緒に下って行き、ナザレに帰って両親に仕えられた。母はこれらのことをみな、心に留めておいた。

2:52 イエスは神と人とにいつくしまれ、知恵が増し加わり、背たけも伸びていった。

●ポイント1.「祭りの慣習」とは？

※申命記16章16節「律法における巡礼命令」 (旧約p.345上段)

16:16 あなたのうちの男子はみな、年に三度、種なしパンの祭り、七週の祭り、仮庵の祭りのときに、あなたの神、【主】が選ばれる場所で御前に出なければならない。【主】の前には何も持たずに出てはならない。

●ポイント2.「人としてのイエス」とは？

※ヘブル人への手紙2章17節「すべての点において」 (新約p.439下段)

2:17 したがって、神に関わる事柄について、あわれみ深い、忠実な大祭司となるために、イエスはすべての点で兄弟たちと同じようにならなければなりません。それで民の罪の宥めがなされたのです。

●ポイント3.「父の家」とは？

※ヨハネの福音書2章13節～16節「公生涯最初の巡礼」(新約p.178下段)

※ルカの福音書19章45節～46節「エルサレム入場後」(新約p.159下段)

19:45 それからイエスは宮に入って、商売人たちを追い出し始め、
19:46 彼らに言われた。「『わたしの家は祈りの家でなければならない』と書いてある。それなのに、おまえたちはそれを『強盗の巣』にした。」

◎先週の礼拝メッセージ【女預言者アンナ】

《第三週のメッセージの続きです。すなわち、ヨセフとマリアが、幼子イエスを連れて、エルサレムの宮に清めの捧げ物と、祭司によって、幼子イエスに、割礼を施してもらう為にやって来た時のことです。

父なる神様は、主イエスの両親の為に、二つのしるしを用意されていました。一つ目のしるしは、「神の人シメオン」でした。そして、もう一つのしるしが、「女預言者アンナ」です。アンナとは、「恵み」という意味のヘブル語「ハッナー」のギリシヤ語形にあたります。

アンナは、7年間の結婚生活の後やもめとなり、幼子主イエスに出会った時は84歳でした。聖書は、「女預言者」と書き記していることから、本物の預言者であったと思われれます。しかも、彼女は宮を離れず、断食と祈りをもって、夜も昼も神に仕えていたのです。

神様はシメオンだけでなく、彼女に対しても、大いなる哀れみと恵みを持って、84歳まで生きながらえさせました。そして、救い主を自分の目で見ることが許されたのです。アンナは幼子イエスを祝福し、ヨセフとマリアに、聖霊からの言葉を告げたに違いありません。

そして、彼女は、神に感謝をささげ、エルサレム中の、贖いを待ち望んでいたすべての人に、幼子イエスのことを語ったとあります。

具体的にどのようなことをアンナが語ったのかは、分かりませんが、この方こそが、旧約聖書に約束された「救い主(メシア)」であることを、人々に告げ知らせたのではないのでしょうか。

両親は、律法に従って、すべてを行ない、それからエン・カレムに住むザカリヤとエリサベツとヨハネの所によったに違いありません。

そして、ベツレヘムの家に戻って、人口調査の登録を行ない、その日のうちに、東方の三博士の訪問を受けたかと思われれます。しかし、その夜、ヨセフは夢で危険を示され、マリアと幼子イエスを連れて、エジプトに避難するのです。再び、夢で戻るように示される日まで。》

◎お知らせ

※次回礼拝は、11月12日(日)です。通常通り行ないます。